

第37回平和展の御案内

1階展示ホール【8月3日(木)、8月4日(金)・午前9時～午後5時】

① 特別展示「いわさきちひろ 平和パネル展」 『ちひろの平和への願い』

娘時代を戦時下で過ごしたいわさきちひろは、子どもたちの夢や希望、生命をも奪う、戦争の悲惨な現実を目の当たりにします。そして、戦争では、一番弱いものが犠牲になると痛感しました。1960年代から70年代前半、ベトナム戦争が激化していくなかで、ちひろは戦争をテーマにした絵本を手がけます。ちひろは、戦争の悲惨さや残酷さを直接表現した絵ではなく、戦争のなかで生きる子どもの、懸命な姿や、未来を失い絶望した表情を描きます。そこには、かけがえのない命や平和の大切さ、それを守りたいというちひろの切実な思いがありました。あどけないあかちゃん、生命力に満ちた子ども、そして戦禍のなかで生きることを余儀なくされた子ども。ちひろが未来の、そして平和の象徴として、ちひろが描いた子どもたち、ひとりひとりには、「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」という、ちひろの願いが込められています。本展では、絵本『戦火のなかの子どもたち』、『わたしがちいさかったときに』のパネルと夏の子どもたちを描いた複製画を展示します。

② 原爆の被害パネルコーナー

1945年8月6日午前8時15分、広島に投下された原子爆弾はウランを用いたもので、小型であったため「リトルボーイ」と呼ばれていました。長さ3m、直径0.7m、重さ4トンあり、通常火薬を使った爆弾1万5千トンに相当するものでした。そのリトルボーイの実物大模型と、原爆が投下された後の広島の様子を写した写真等をパネルにしたものを展示しています。語り部さんからの説明も聞いてみてください。

③ 平和の木のメッセージ

木の葉のカードを用意していますので、平和への願いを込めたメッセージを書いて、平和の木にはりつけてください。平和の木が、皆様方のメッセージでいっぱいになることを願っています。

④ 折り鶴コーナー

平和への祈りを込めた折り鶴づくりを行っています。寄贈された折り鶴は広島市の平和記念公園内にある「原爆の子の像」に捧げさせていただきます。

⑤ 学童保育指導員による 作品展示

平和展にご来場していただいた記念になるように、映えスポットを用意しています。ご自由に記念撮影をしていただけます。

2階多目的ホール

○ 映画会：「太陽の子」【8月3日(木) ①午前10時～②午後2時～】

太平洋戦争中の日本にも存在した「原爆開発」における研究者の葛藤と、戦火に翻弄された若者たちの青春を描いた作品です。哀しみとむなしさが残された戦争に、どれだけ多くの国民の人生が狂わされたのかと考えさせられます。

○ 講演会&ドキュメンタリー映画上映会(海南友子監督)【8月4日(金) 午後1時30分～】

- ・ドキュメンタリー映画上映会 「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」
「窓際のトットちゃん」の挿絵でも知られ、今も世代を超えて愛され続けている画家いわさきちひろ。しかし、彼女の人生が波乱に満ちていたことは、あまり知られていません。本作は、誰もが知っている絵本画家の、誰も知らない波乱の人生を、黒柳徹子、高畑勲ら、ちひろから影響を受けた50人の証言を元にひも解くドキュメンタリーです。映画監督で、いわさきちひろ記念事業団代表理事でもある山田洋次氏がエグゼクティブプロデューサーを務められています。
- ・講演テーマ「戦火の子どもを描く いわさきちひろの人生と絵」
映画鑑賞後、本作を監督した海南友子さんの講演会を行います。いわさきちひろの人生を通して、平和の大切さを学べる講演会です。